



「責任ある献血」矢部高生が命をつなぐボランティア

12月21日(水)、矢部高校で熊本県赤十字血液センターの移動採血車による集団献血が行われました。矢部高校では毎年冬の時期に献血が行われており、今回は生徒と先生の34名から温かい協力を得ました。

生徒のほとんどが初めての献血で、受付時には緊張した様子でしたが、血液センターの担当者からの手順や注意事項の説明に熱心に耳を傾けていました。

血液センター推進課によると、近年は少子高齢化で輸血が必要な高齢者が増える一方、十代、二十代の献血者数は減り続けているとのこと。医療技術がどんどん進歩していく中でも、血液はいまだに人工的に造ることができません。また、血液は長い間保存ができないので、すぐに患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

今回、献血した矢部高生のような若年層の献血者が増えていくことはもちろん、一人でも多くの方に献血に協力してもらう必要があります。

なお、次回の献血は2月17日(金)山都町役場にて行われます。皆様のご協力をお願いします。

食農科学科2年生の原生祐弥君(井無田)は「少しでも人の役に立ちたいと思い、自分から献血を希望しました。」と、希望した経緯について話してくれました。



採血車の様子



献血デビューの原生君

町長室から 工藤 秀一

この町の基幹産業は農業です。農家が元気でなければ商工業も活性化しないのは、皆さんご承知のとおりです。

その農業ですが、昨年4月の熊本地震と6月の集中豪雨により農地・農業用施設に深刻な被害を受けました。昨年からの1月まで国の補助金などを決める査定が毎週行われ、その結果、約1,800件(被災箇所約2,600箇所)、復旧費は約39億円となり、本町は、県下でも大きな被害(災害件数は県内の34%、金額は県内の15%を占める)状況であったことが判明しました。

極めて甚大な被害であったことから、被災された農家の負担を最小限に抑えるために、国や県に対し高率補助の申し入れを行うとともに、町においては、負担金の軽減に関する条例を制定いたしました。測量設計費の負担金を従来は査定額の2%負担としていたものを、負担無しとし、工事の負担金も1%までの引き下げなど、でき得る限りの対応を行ったところです。

さらに、農地等の復旧工事に

については、現地の測量設計を速やかに終わらせ、工事発注する工夫を行い、不足が懸念される受注業者についても、県外の建設業協会に足を運び協力を依頼しています。

また、復旧工法についても早期復旧につながるよう国・県に申し入れています。具体的には、現在不足している石工などの技術者を要せず、比較的早い施工が見込まれるブロック工法の採用を提案する等、おそらく承認していただけるものと考えています。

このように、農業の基盤である農地・農業用施設の被災箇所を一日も早く復旧すべく全力を傾注しているところですが、ご心配なところやご不明な点があればお尋ねいただきたく思います。

今回の災害は、農地等以外の施設や各種産業にも極めて大きな被害が出ています。国・県は、制度事業を最大限に活用しながら復旧・復興を進め、それでも難しい事業については、復興基金等での対応を考えていますが、町としても、この方針に沿って、被災された方々が一日も早く次の一歩を踏み出せるよう、施策を確実に実施してまいります。

緑科学科3年生最後の演習林実習(山の神祭り)

12月20日(火)に緑科学科3年生8名で最後の演習林実習を行いました。矢部高校が所有する鍛冶床演習林のクヌギの伐倒実習を行い、午後からは、1年間無事に実習ができたことや山からの収穫物に感謝の気持ちを込めて、山の神祭りを実施しました。今回、伐倒したクヌギは春先まで置いて水分を減らした後、1・2年生が玉切りし、シイタケの種駒打ちを行っていきます。先輩から後輩たちへと受け継いでいきます。3年生にとって最後の演習林実習ということで、みんなの思い出に残る演習林実習となりました。



○最後の演習林実習を終えて

緑科学科3年 本田君(矢部中出身)

緑科学科では、チェーンソー等を使い演習林での実習を行ってきました。私は、将来林業関係の仕事に就きたいと思っているので、緑科学科で学んだ事を役に立てて行きたいと思います。最後の演習林実習でしたがいい思い出になりました。

頑張る高校生表彰



熊本県がんばる高校生表彰は、学業、スポーツ、文化活動等において、他の生徒の模範となる県内高校生の表彰です。今回の表彰で、普通科3年(日本拳法部)の亀谷君(清和中出身)が受賞しました。

(普通科3年 亀谷君)

第4回熊本県農業関係高等学校部活動交流大会 バasketボール大会 優勝

12月27日(火)熊本農業高校体育館で、第4回熊本県農業関係高等学校部活動交流大会バスケボール大会が行われました。男子バスケボール部が予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメントに進み決勝戦では熊本農業高校に競り勝ち優勝することができました。



試合結果

- ・予選リーグ 矢部高校 108-22 芦北高校
矢部高校 74-52 熊本農業高校
- ・準決勝 矢部高校 65-62 翔陽高校
- ・決勝 矢部高校 51-44 熊本農業高校

○試合を振り返って

男子バスケボール部キャプテン 山崎君(緑科学科2年、矢部中出身)

部員数が少ないのでバスケボール経験者に協力してもらい試合に出場しました。不安でしたが一人一人が「点を決めるんだ」という強い気持ちで、戦うことができたので良かったと思います。また、この試合で一人一人の課題も見つかったので、これからの部活動で練習をし、次の試合にいかして行きたいと思います。

第41回矢部高等学校百人一首かるた大会

1月12日(木)第41回矢部高校百人一首かるた大会を行いました。日本の伝統に親しみ、和歌に対する関心や知識を深めて、国語力の育成を図るために行われました。矢部高校百人一首かるた大会で、1位、2位のチームは、1月28日(土)に行われる熊本県高等学校小倉百人一首かるた競技大会に出場しました。

